

	<p>京都大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）</p>
<p>学部・研究科名</p>	<p>医学部人間健康科学科（第1年次：143名、第3年次：17名）                  看護学専攻（第1年次：70名）、検査技術科学専攻（第1年次：37名）、                  理学療法学専攻（第1年次：18名）、作業療法学専攻（第1年次：18名）                  医学研究科（M：49名、D：15名）                  看護科学/検査技術科学/リハビリテーション科学コース（M：39名）                  高度実践助産学（M：10名）</p>
<p>沿革・ 設置目的</p>	<p>京都帝国大学医科大学附属医院看護婦見習講習科、産婆講習科が設置され、看護婦産婆養成所、京都大学医学部附属看護学校、附属衛生検査技師学校、附属臨床検査技師学校を経て京都大学医療技術短期大学部が設置された後、平成15年、高度な医療専門職の養成、及び理論と実践の学としての人間健康科学を構築し発展させることを目的とした医学部保健学科（現人間健康科学科）が設置された。</p> <p>昭和24（1949）年 京都大学設置                  昭和26（1951）年 京都大学医学部附属看護学校設置                  昭和34（1959）年 京都大学医学部附属衛生検査技師学校設置                  昭和47（1972）年 京都大学医学部附属臨床検査技師学校設置                  平成15（2003）年 京都大学医学部保健学科設置                  平成16（2004）年 国立大学法人に移行                  平成19（2007）年 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻（修士課程）設置（平成21（2009）年に博士課程後期を設置）                  平成20（2008）年 京都大学医学部人間健康科学科に改称</p>
<p>強みや特色などの 役割</p>	<p>○ 京都大学の理念等に基づき、「自由の学風」の下、異分野との連携・融合、産学連携の強化のほか、従来型の学部教育の見直し等を行い、看護学・医療技術の分野で世界に誇る独創的な学術研究の推進と、世界レベルの研究を牽引する研究者を養成し、人の体と心の真の健康を創生するための人間健康科学の発展を目指す。</p> <p>○ 世界トップレベルの先端医療技術の開発及び臨床フィールドにおける実践の追求、並びに医学・医科学専攻、iPS細胞研究所、医学部附属病院等との連携による移植医療、再生医療、がんや難病医療等の高度先進医</p>

療の一翼を担う研究を推進するほか、学内の異分野連携により、新規医療開発に伴う新しい看護・医療技術を創成する研究を推進する。さらに、全国の大学や医療施設等の共同研究において中核的役割を担い、人間健康科学に関する研究を牽引する。

- 他大学や地方公共団体と連携し、地域のニーズに沿った次世代地域医療のビジョン形成と、それを実践するリーダー的人材を輩出することで、地域貢献を図る。